

# 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

資料5

## <大会概要>

大会名	第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会 (愛称:あいサポート・アートとっとりフェスタ)
テーマ	障がいを知り 共に生きる
目的	全ての障がい者の芸術及び文化活動への参加を通じて、障がい者の生活を豊かにするとともに、国民及び県民の障がいへの理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与することを目的とする。
主催	厚生労働省、鳥取県、鳥取市
期間	平成26年7月12日(土)～11月3日(月・祝) 約4か月間
開催地	鳥取市・倉吉市・米子市 県内全域
開催方針	<ul style="list-style-type: none"><li>・障がいのあるなしにかかわらず、あらゆる人が参加して交流し、互いに理解を深めるとともに、共に創作する。</li><li>・障がい者が日頃取り組んでいる芸術文化活動の成果を紹介、発表し、その創造性や芸術性を全国に発信する。</li><li>・鳥取の「力」を発信し、鳥取発の「あいサポート運動」を推進する。</li></ul>

障がいのある人もない人も一緒になって  
楽しめるアートの祭典、鳥取で開催!!



# 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

## <とっとり大会の特色>

### 鳥取県ならではの全国障がい者芸術・文化祭を開催

全国初の手話言語条例を制定した鳥取県だからこそ  
共生社会の実現に資する大会となることを目指して実施

#### とっとり大会の特色ある取組

内 容	過去の大会	とっとり大会
長期的に開催し障がい理解を促進	3日間	約4カ月
舞台発表を全国公募	県内公募	全国公募
障がい者アート作品展を海外公募	全国公募	海外からも公募
健全者にも多く参加していただく取組	—	障がい者と健全者のコラボ
その他特色ある取組	—	障がい者が作ったキャラクター 障がい者がリーダーのキャラバン隊 障がい者への配慮を学んだボランティア

# 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

## < 大会概要 ステージイベント① >

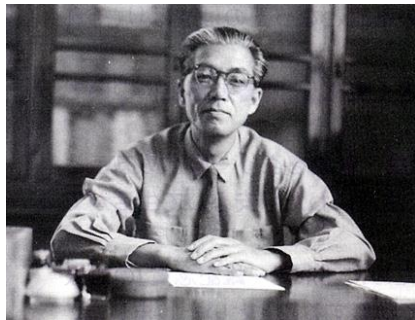
### ステージイベント



オープニングセレモニー 7/12 とりぎん文化会館 入場者数 4,203人



瑞宝太鼓  
～幸せの太鼓を響かせて～  
8/9 倉吉未来中心  
入場者数 871人



糸賀一雄生誕100周年  
記念フォーラム  
4/12 とりぎん文化会館  
入場者数612人



鳥の演劇祭  
(みやざき◎まあるい劇場)  
9/13、9/14 鹿野往来交流館  
入場者数 143人



特別支援学校合同文化祭  
9/20 倉吉体育文化会館  
入場者数 2,812人



あいサポートコンサート  
10/4 米子公会堂  
入場者数 1,647人



# 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

## < 大会概要 ステージイベント② >



全国から公募した障がい者団体  
によるステージ発表



「中島隆信」氏による基調講演  
「差別と配慮」



障がいのある人とない人で  
創りあげた「じゆう劇場」



県立米子養護学校と日野  
高校による「荒神神楽」



「がーまるちょば」  
サイレントコメディ



「金澤翔子」  
書道パフォーマンス



「ジェネシス・オブ・エンター  
テイメント」車いすダンス



「ハンドサイン」  
手話ダンス



ステージ、観客席みんな一緒になって「あいサポの輪」

### < この他にも多くのイベントを開催 >

- ・バリアフリー映画
- ・川畠成道ヴァイオリンコンサート
- ・館野泉ピアノリサイタル
- ・Paix(ペペ)メッセージコンサート
- ・デフ・パペットシアターひとみ人形劇
- ・海外交流地域障がい者ステージ発表
- ・日韓手話演劇 など

大会のラストを飾った「クライマックスイベント」 11/1～3 とりぎん文化会館 入場者数 15,151人

# 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

## < 大会概要 展示イベント >

### 展示イベント



**NHKハート展**  
8/13～22 とりぎん文化会館  
入場者数 1,850人  
作品数 100点(県外100)

**2014パラアート作品展**  
9/5～21 やまびこ館  
入場者数 1,338人  
作品数 50点(県外20,海外30)

**大会キャラクター友だち作品展**  
9/5～21 やまびこ館  
入場者数 パラアートと同時開催  
作品数 157点(県内150,県外7)

**アーティストリンク作品展**  
10/16～11/3 とりぎん文化会館  
入場者数 3,782人  
作品数 308点(県内308)



**全国障がい者芸術・文化祭で初となる国際公募展**  
**国際障がい者アート展**  
10/25～11/3 県立博物館  
入場者数 2,353人  
作品数 698点(県内387,県外233,海外78)



**全国初となるアール・ブリュット県内巡回展**  
・西部: 9/6～ 9/28 (米子市美術館)  
・中部: 10/9～10/19 (倉吉博物館)  
・東部: 10/25～11/3 (県立博物館)  
入場者数 8,506人  
作品数 2,228点(県内211,県外2,017)



# 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

## < 大会概要 ワークショップ >

### ワークショップ



**音と体で遊ぼう!**  
7/19 とりぎん文化会館  
講師 沼田里衣氏(兵庫県)



**凸凹版画をつくろう**  
7/27 上井公民館  
講師 宮崎みよし氏(兵庫県)



**楽描RAKUGAKI 8/2~3 倉吉未来中心 講師 木村太亮氏(東京都)**



**あなたの感じている世界を  
手ざわりカードで表現してみよう**  
8/24 米子市福祉保健総合センター  
講師 光島貴之氏(京都府)



**演劇ワークショップ**  
9/29 鳥の劇場  
講師 TBTB(アメリカ)



**ダンスワークショップ**  
10/26~11/1 仁風閣ほか  
講師 南村千里氏(イギリス)

# 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

## ＜大会の成果 障がい者の社会参加意識の向上＞

多くの来場者に自分たちの舞台発表や美術作品等を鑑賞していただいたことにより、障がい者は自信や達成感を抱かれた



特別支援学校生徒  
約400人による大合唱



障がい者団体によるステージ発表



PRキャラバン隊のリーダー、大会キャラクターの作成、PRグッズの製作等を障がい者が担ったことによる社会参加意識の向上



大会キャラクター「パレットくん」と  
デザイナー「山本拓司さん」



軽度の知的障がいのあるキャラバン  
隊リーダー「中尾奈々さん」



県内の障がい福祉サービス事業所  
が作成した大会PRグッズ



# 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

## ＜大会の成果 障がい者に対する理解の促進 ①＞

各開催会場には、障がいの有無にかかわらず多くの来場者があり、障がい者の舞台発表や美術作品等を鑑賞し、障がい者への理解を深めた



多くの来場者で賑わう発表会場



ホールイベントも大盛況

障がい者と健常者とのコラボレーションによる舞台発表や美術作品等の創作による交流により障がい者への理解が進んだ



県立米子養護学校と日野高校  
による「荒神神楽」



障がいのある人とない人で創りあげた  
じゆう劇場「三人姉妹」



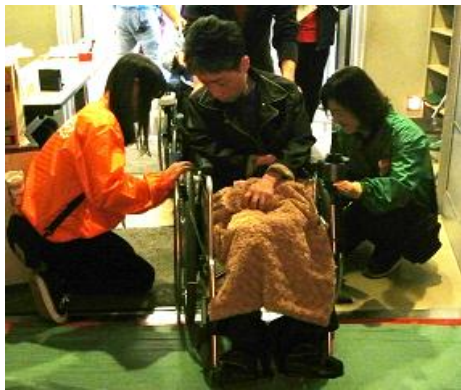
プロのアーティストと障がい者  
による美術作品等の創作  
「アーティストリンク」



# 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

## ＜大会の成果 障がい者に対する理解の促進 ②＞

**「あいサポーター研修」を受講したボランティアの皆さんが延べ1, 210人（登録者739人）参加していただき、障がい者等の支援等に当たっていただいた**



車いすの操作を手伝う  
ボランティア



視覚障がい者の支援を行う  
ボランティア



「あいサポーター研修」の様子

**開催会場では、県内の障がい福祉サービス事業所が作った食品、製品等を販売し、県民の方が多く買われるなど障がい者への理解につながった。**



スイーツ甲子園鳥取県予選



スイーツ販売

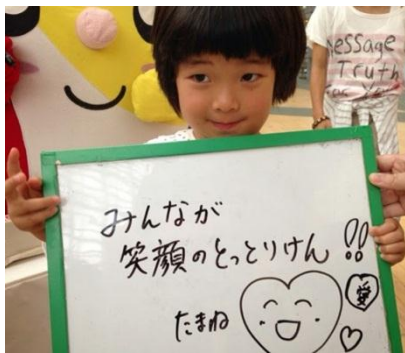


障がい福祉サービス事業所が  
作った製品等を販売

# 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

## ＜大会の成果 障がい者に対する理解の促進 ③＞

多くの方々に応援団になって大会をサポートしていただいたり、あいサポート大使として宣言していただくなど、あいサポート運動の普及と障がい理解が進んだ



大会をサポートしてくれる大会応援団の皆さん

あいサポート大使による閉会宣言

多くの海外作品が寄せられたり、日本と韓国のろう者との演劇、海外の障がい者の舞台発表など、障がい者アートの国際的な取組も実施



多くの海外作品も寄せられた「国際障がい者アート展」



日本と韓国のろう者と健聴者が一緒に作り上げた「日韓手話演劇」



台湾台中市の全盲のアコーディオン楽団による舞台発表



# 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

## ＜大会の成果 バリアフリー化の進展、障がい者対応を実施＞

会場付近の道路の歩道整備や会場と主要駅を結ぶ無料シャトルバスの運行など、バリアフリー化を進展させるとともに、様々な障がい者対応を実施



JR鳥取・倉吉・米子駅に総合案内所を設置し、お茶を振る舞うなどのおもてなしを実施（イベント開催時）



JR鳥取・倉吉・米子駅から会場間の歩道について、車いすでの通行を円滑にするため、歩道の段差解消を可能な範囲で実施



JR鳥取・倉吉・米子駅から会場までの無料シャトルバスを運行（展示イベントについてはジャンボタクシー対応）

このほかにも、大会開催にあたって様々なバリアフリー対策・障がい者対応を実施した

- チャリ・リーフレットにはSPコードを付与
- ステージイベントには手話通訳・要約筆記・音声ガイドを実施
- 各会場にボランティアスタッフ（あいサポーター）や手話通訳を配置
- 救護室の設置、支援者の配置、車椅子席の設置などを行い、重度の障がい者にも大会に参加していただきやすい環境を整えた
- 会場に来られない方のために、大会の様子をユーチューブにより配信（配信可能なもののみ）

# 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会 ＜秋篠宮妃殿下・佳子内親王殿下 御臨席＞

全国障がい者芸術・文化祭で初めて  
秋篠宮妃殿下・佳子内親王殿下に御臨席賜りました



記念式典でのお言葉



国際障がい者アート展御覧



障がいのある出演者を  
交えた交流レセプション



アール・ブリュット展御覧



じゆう劇場による演劇御覧



因州和紙アート体験御臨席



# 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

## < 大会入場者数等 各種データ >

### 1 大会入場者数 (延べ人数) 43, 276人

内訳<主なイベント(3千人以上)>

- ・クライマックスイベント 15, 151人
- ・アール・ブリュット展 8, 506人
- ・オープニングセレモニー 4, 203人
- ・アーティストリンク作品展 3, 782人

### 2 大会イベント数 97イベント (実行委員会主催 24イベント)

- 内訳
- ・実行委員会主催イベント 24事業
  - ステージイベント 8事業
  - 展示イベント 10事業
  - ワークショップ 6事業
  - ・関連イベント 73事業

### 3 大会出演者 (延べ人数) 1, 745人

内訳 障がい者 1,266人、健常者 479人  
県内 1,620、県外 93、海外 32

### 4 大会出展数 (延べ点数) 3, 577点

内訳 障がい者 2,752点、健常者 825点  
県内 1,092、県外 2,377、海外 108

### 5 ボランティア参加状況 延べ1, 210人 (登録者 739人)

ボランティアの皆さんには、「あいサポーター」  
になっていただき、多様な障がいの特性、障が  
いのある方への必要な配慮などを理解してから、  
業務に当たっていただいた



# 第14回全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会

## ＜今後の障がい者の芸術文化活動の振興方策＞

### 県内の取組

#### 障がい者アートに関する情報発信拠点の設置

##### 「あいサポート・アートインフォメーションセンター」の設置

- ・障がい者アートの常設展示（くらよしアートミュージアム無心をはじめとした県内展示施設での展示）
- ・相談支援（障がい者アートに関する相談対応）
- ・人材育成（福祉施設におけるアート活動に関する研修会の開催）
- ・普及啓発（障がい者アートに関するワークショップの開催）
- ・情報発信（必要な情報の収集・発信）



くらよしアートミュージアム  
「無心」

#### 練習機会の確保

- ・団体練習経費等の補助

#### 発表機会の確保

- ・個展等開催経費の補助
- ・あいサポート・アートとっとり展（県内の美術作品の公募展）の開催
- ・あいサポート・アートとっとり祭り（舞台発表）の開催

#### 専門的な活動機会への参加

- 「鳥の劇場」が実施する障がい者と健常者が共につくる多彩な芸術への参加
- ・「じゆう劇場」による演劇
- ・「じゆう劇場」の県外公演

### 全国的な取組

#### 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた全国的な障がい者の芸術文化振興（平成28年～32年）に鳥取県も全面的に参画し、障がい者アートの発展を支援

- ・舞台芸術祭（和太鼓、神楽、バンド、ダンス等）の開催
- ・アール・ブリュット展の開催 など